

令和 7 年度 世界遺産登録に関する特別委員会 行政視察報告書

視察日	令和 7 年 5 月 9 日(金) 午後 1 時 1 0 分～午後 4 時 0 0 分		
視察地	菖蒲池古墳・大官大寺跡 本薬師寺跡	人 口	—
		面 積	—
視察事項	世界遺産登録候補の 現地視察	担当職員等	魅力創造部 文化財保存活用課
視 察 研 修 内 容 等	1. 視察内容 (1) 菖蒲池古墳 明日香村内のかつてのゲートボール場跡地に駐車後、徒歩 1 分で古墳に到着した。通常は紫外線対策のため閉じられている格子窓および扉を開放し、家形石棺を直接視認した。視認距離があったが、ガイドによる詳細な説明により内容を理解することができた。 (2) 大官大寺跡 北側の空き地に駐車後、徒歩 5 分で遺構中央部に到着した。広大な大官大寺の区域と、かつて存在した九重塔については AR アプリを用いて視覚的に把握できた。当時の伽藍配置や規模を体感し、文化的価値を再認識する機会となった。 (3) 本薬師寺跡 西塔および東塔の礎石が現存しており、特に東塔礎石は当時のものが保存されている。また、金堂跡にも同様の礎石が残されており、当時の伽藍構造を理解する上で有意義な視察であった。 2. 所感 今回の視察を通じて、各遺跡の保存状況や現地での公開状況を確認し、世界遺産登録に向けた課題と意義を共有することができた。また、AR 技術の活用など、現代技術を取り入れた保存・活用手法の有効性についても認識した。今後も関係機関との連携を図りつつ、登録実現に向けた取り組みを議会として支援していく所存である。		